

～中堅・中小企業の活用実態とニーズから学ぶ～

セキュリティ対策の提案において押さえておくべき基礎知識

2014年11月20日

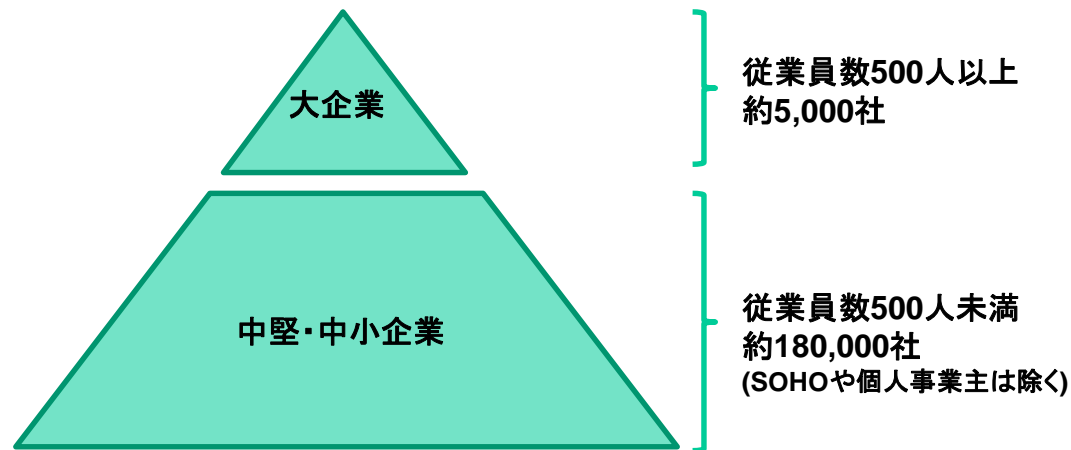
株式会社ノークリサーチ
シニアアナリスト
岩上 由高

| | |
|--------------------------|----|
| 株式会社ノークリサーチのご紹介と本日の対象企業層 | 3P |
| 中堅・中小企業におけるセキュリティ対策の現状 | 4P |
| [変化1]端末利用環境の多様化 | 5P |
| [変化2]クラウドサービスの登場 | 6P |
| [変化3]ツール導入だけでは防げない標的型攻撃 | 7P |
| 中堅・中小企業におけるセキュリティ対策の視点拡大 | 8P |
| セキュリティ対策投資を引き出すためのアプローチ | 9P |

ノークリサーチとは？

15年に渡り、市場調査を通じてITを利用する側と提供する側の橋渡しを担うリサーチ&コンサルティング企業、特に国内中堅・中小企業におけるIT活用実態やそれを支援する販社/Sierの動向に関する調査活動を得意とする。

本日の対象企業層



大企業：

実態を把握しやすいが、企業数は少ない。

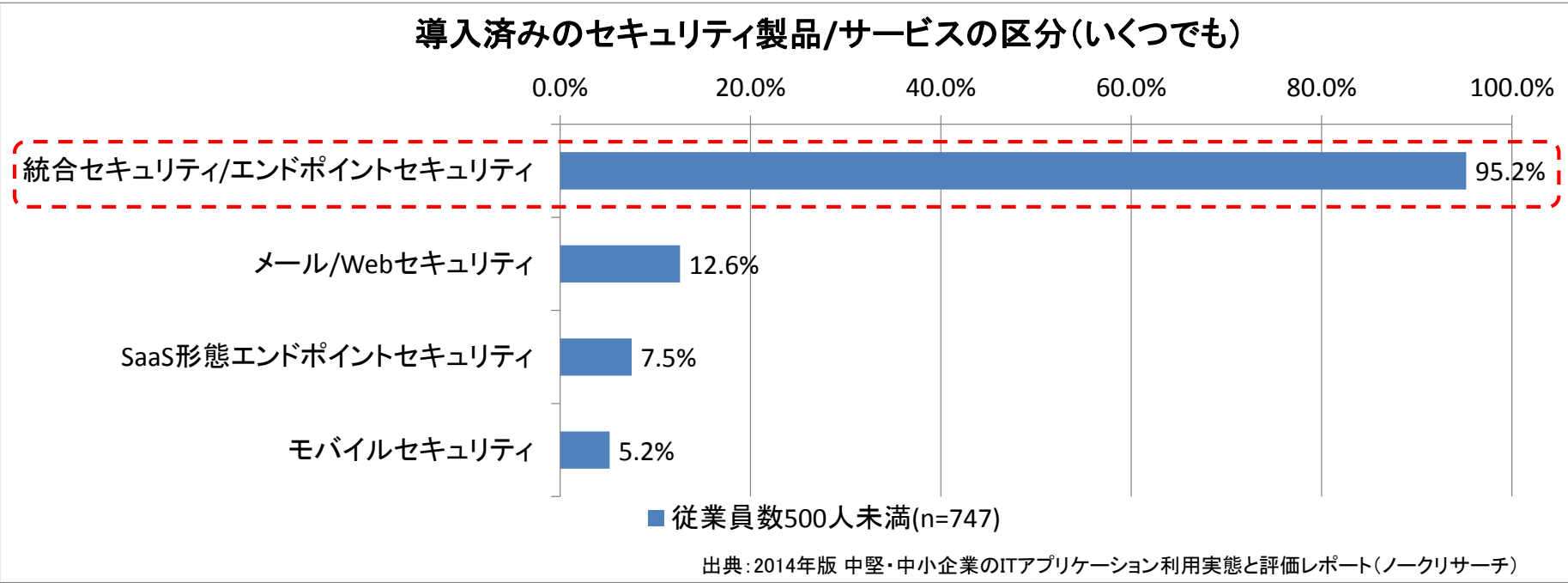
中堅・中小企業：

企業数は多いが、課題やニーズが掴みづらい。



本講座のテーマ：

従業員数500人未満の中堅・中小企業が抱える課題やニーズなどを踏まえながらセキュリティ対策の提案に求められる基礎知識を習得する。



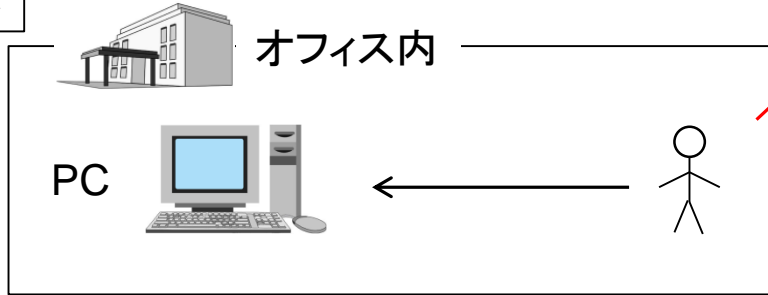
PCにマルウェア対策ソフトウェアを導入する「従来型のエンドポイントセキュリティ対策」が大半を占める



しかし、中堅・中小企業を取り巻くセキュリティ関連の脅威は近年になって大きく変化している

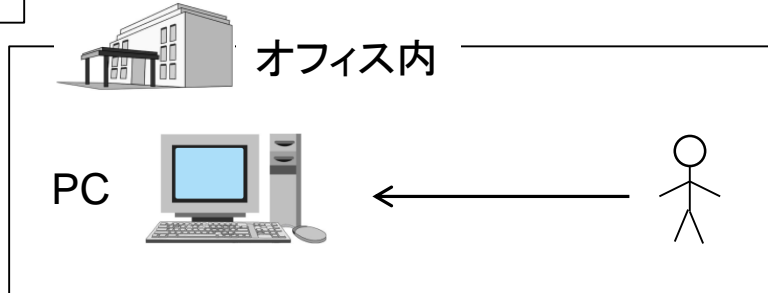
[変化1] 端末利用環境の多様化

従来

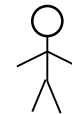


「オフィス内」かつ「PC」に対する対策のみ考えれば十分

現在



オフィス外



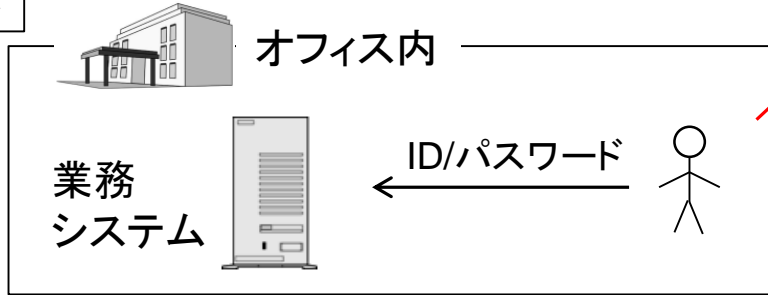
スマート
デバイス

「オフィス外」かつ「スマートデバイス」の利用も考慮する必要がある

「オフィス内」に加えて「オフィス外」、「PC」に加えて「スマートデバイス」へと端末利用環境が広がっている

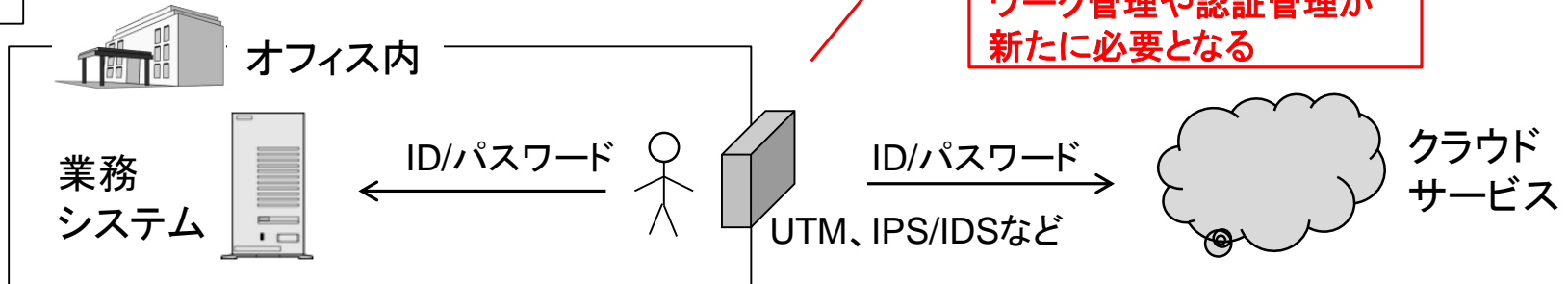
[変化2] クラウドサービスの登場

従来



オフィス内に閉じたネットワーク管理や認証管理を行っていれば十分

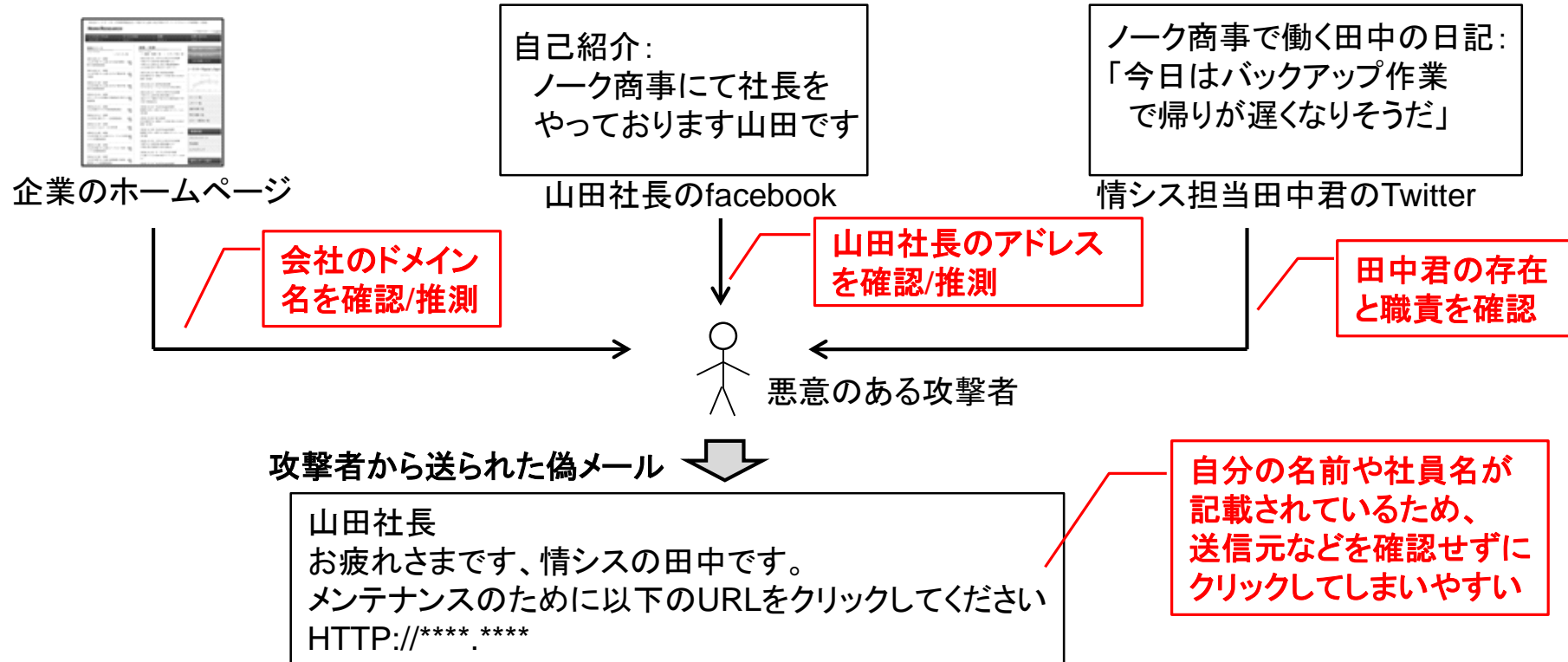
現在



オフィス内外を跨いだネットワーク管理や認証管理が新たに必要となる

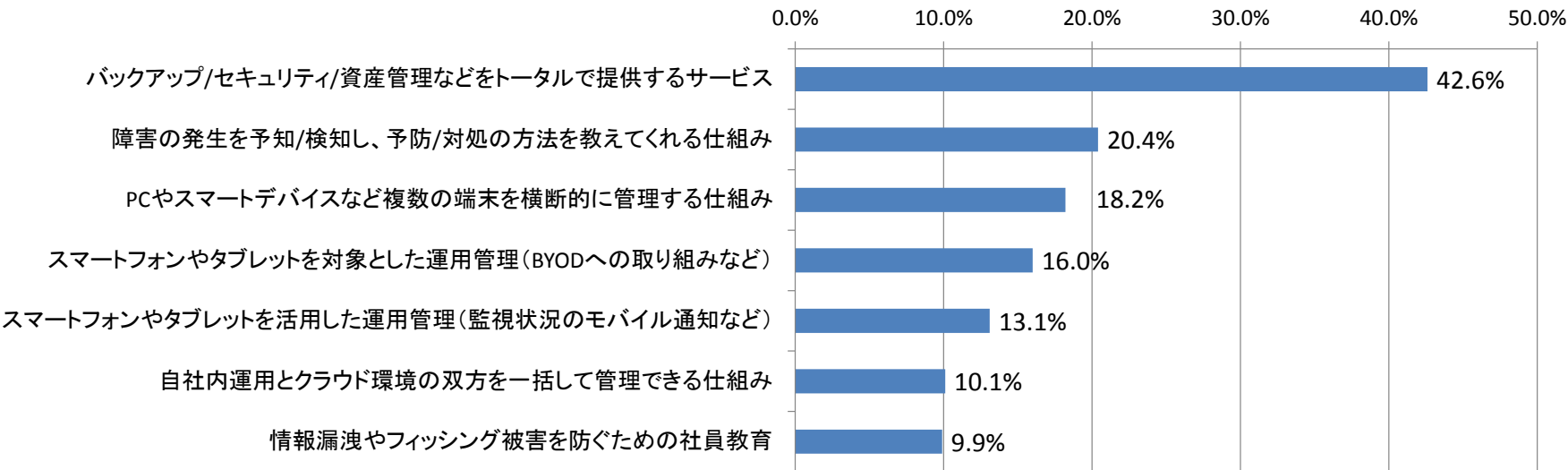
ネットワーク管理や認証管理についても、これまでと比べて広い範囲で対策を講じる必要が生じてくる

[変化3] ツール導入だけでは防げない標的型攻撃



標的型攻撃による被害を防ぐためにはツール導入だけでなく、社員に対する教育や啓蒙が不可欠

IT資産の管理/運用への投資において今後重視する事柄(複数回答可)(主要な項目のみプロット)



■ 従業員数500人未満(n=495)

出典: 2014年~2015年版 中堅・中小企業におけるIT投資の実態と展望レポート(ノークリサーチ)

中堅・中小企業も「スマートデバイス」「クラウド」「社員の啓蒙/教育」へと少しずつ視点を広げつつある



こうした視点拡大の兆しを実際のセキュリティ対策投資に結び付けるにはどうすれば良いのか？

セキュリティ対策投資を引き出すためのアプローチ

3つの変化を個別にアピールしても提案は進まない

端末利用環境の多様化
クラウドサービスの登場
標的型攻撃への備え

⇒ スマートデバイスの導入効果がまだ十分に見いだせない段階
⇒ 「安くなる」ことを期待している状況で追加投資は期待できない
⇒ 「ウチは大企業ではないので狙われる心配はない」と思いがち



「直近で管理/運用の負担軽減につながる訴求」から始めるのが得策

今後の重視事項では「バックアップ/セキュリティ/資産管理の統合」が最も多く挙げられている



OSが標準で備える機能/サービスを活用するなどして負担を軽減した上で、
3つの変化に対応するための支援を行っていくといったアプローチが有効

ご高覧ありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社ノークリサーチ

Web : <http://www.norkresearch.co.jp>

Mail : inform@norkresearch.co.jp